

宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム



ミュージアム外観



展示室風景

縄文体験メニュー

縄文の生活を追体験してみよう！

	所要時間	料金
①土器づくり(要予約)	約3時間	400円
②どんぐりクッキー作り(要予約)	約1時間	250円
③ペンダント作り	約1時間30分	400円
④土偶・ミニ土器作り	約1時間	200円
⑤火おこし体験	30分～60分	100円(1組)
⑥弓矢の使用体験	30分～60分	100円
⑦キーホルダー作り	約30分	100円

※事前予約が必要な体験もございますので、
詳細はミュージアムにお問い合わせください。

《宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム》

- 開館時間 午前9時から午後5時(最終入館は午後4時30分)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日)・年末年始・毎月月末平日
- 入館料 高校生以下無料 一般 200(100)円 学生 150(80)円
()内は10名以上の団体割引料金

〒027-0097 岩手県宮古市崎山第1地割16番地1

☎ 0193-65-7526 / FAX 0193-65-7508

崎山貝塚縄文の森公園

散策マップ
—貝塚・竪穴住居編—



崎山貝塚縄文の森公園

散策マップ





貝塚は当時の人々が食べた魚の骨や貝が出土しており、魚の中でもイワシが多いのが特徴です。また、魚を釣るために釣り針も出土しています。このことから、貝塚は使い終わった道具の、「モノ送りの場」という面もあったと考えられています。



貝塚

暮らしによって つくられた地形

貝塚は長い時間をかけ、自然の地形を利用しながら形づくりされていきました。その生活の「あと」は、現在も足元に積み重なっています。

貝塚ができるまで

約6,000年前

縄文人が来る

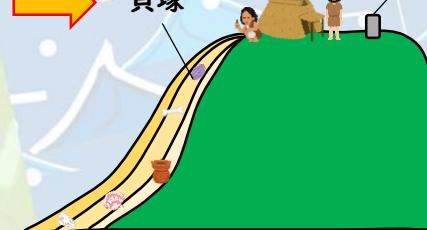
元の地形

約6,000～3,500年前
縄文人が生活



貝塚

立石

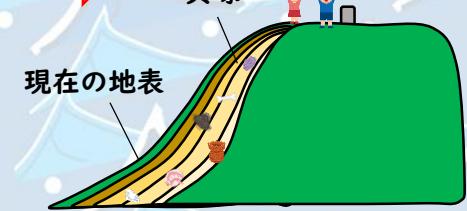


現在



現在の地表

貝塚





復元竪穴住居

どうやって作ったの？

平成27年に地元の小学生やボランティア、作業員のみなさんと共同で作りました。

地面を掘って床面を作った後に、6本の柱で骨組みを作り、屋根のカヤ葺きを行いました。



カヤ葺き作業

実際に暮らしてみると？

竪穴住居は、地面を掘りこんでいるので、住居の中に入ると、夏は涼しく、冬は暖かく感じます。縄文人は、意外と快適に過ごしていたようです。

※竪穴住居の中に入ることはできません。

中はどうなっているの？

地面に楕円形に穴を掘り、柱を立てた構造になっています。中央に火を焚く炉があり、その上に火棚があります。

屋根には煙を出すための排煙口もあります。屋根に土をかぶせていたという説もありますが、この竪穴住居はカヤ葺きで復元しています。



復元住居のモデル

煙出し口

火棚

住居の内部

